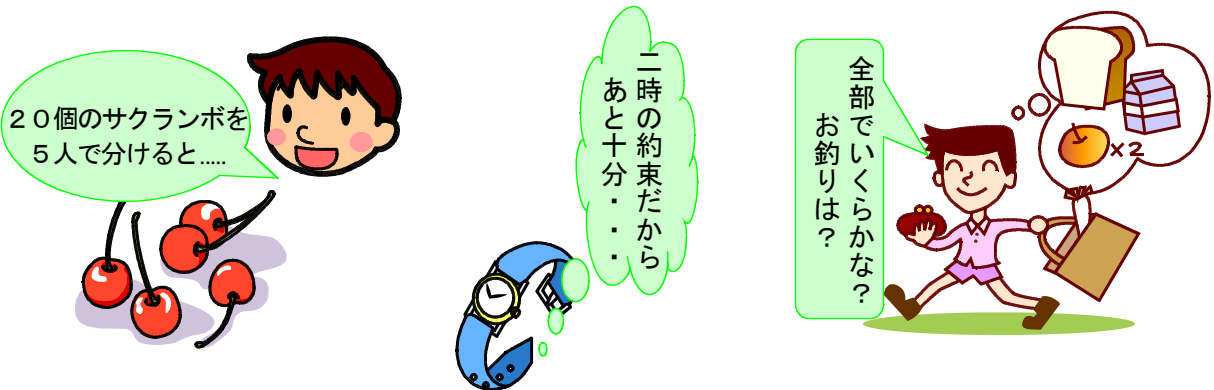


生活の中で学ぶ習慣を

日常生活の中には学びがあふれています。ですが、それを意識するかしないかでは大きく違います。ほんの少し意識するだけで、暮らしの中から様々な知識を得、貴重な経験を重ねていくことができます。

生活の中の計算

飲食物を分ける、買い物をする、時間を意識して行動する等、これはほんの一例です。こうした日常の行為が、学習につながっていると意識することも大切なことです。



家族の会話やテレビから



「今言ってた言葉の意味はわかる？」
「今、テレビで〇〇って地名が出てたね。」
普段の会話や、何気なく見ているテレビにも疑問はたくさん出てきます。一言、子どもにそれを問いかけるだけで、子どもの知識欲を刺激し、新しい学びとなるのです。親がそれを説明することも大切でしょう。また、上の学年なら子どもに調べさせてみるとさらにいいでしょう。テレビの近くに辞書や地図帳を常備することをおすすめします。気軽に調べられる環境は、とても有効です。数分の会話やテレビ番組にも、新たな学びがあふれているのです。

お手伝いも学習の場

お手伝い＝家の仕事を責任をもって担当することは大切なことです。躰の一つでもあります。勤労・奉仕の精神が育ちますし、体力増進にもつながります。家族そして社会の一員である意識も身につきます。

そしてその中から体験的に様々なことを学びます。まずは一つ、そして成長や慣れに合わせて、お手伝いを増やしていきましょう。

